

佐久市公民館運営審議会 会議録（要旨）

日 時 令和元年10月1日（火）
午後3時～午後5時24分
場 所 市民創錬センター 大会議室

委嘱書交付

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 自己紹介

4 佐久市公民館運営審議会について

5 会長の選任及び会長職務代理者の指名

会長 井出亮さんが選任

職務代理者 会長が東城公人さんを指名

6 会議事項

（1）令和元年度佐久市公民館上半期事業報告及び下半期事業について ＜事務局説明＞

【質疑応答】

委 員： 近年の気候変動で災害が起こった場合にこうしたらいいとか、災害を経験された方を呼んでアドバイスをもらうなど、区長や皆で学習して地域へ降ろしていくような取組みはできないか。

事務局： 本年11月に地域公民館長を対象とした研修会において、市危機管理課の職員を講師に、市の防災・減災に対する取組みなどの講演をしてもらう計画をしています。来年度以降も防災・減災についての事業を継続していくように努めていきます。

委員： 地域の方がピップホップを教えてくれる講座があることを知って、子ども達は体を動かすことが大好きのようだった。土・日曜日に公民館でピップホップ講座をやったらいいと思った。

また、どの世代もストレスを抱えていると思うので、自分を解放できるような「人間シリーズ」や「心理学講座」などの講座を開設したらどうかと思う。

事務局： 講座の開設にあたりどういう世代を取込んでいくか、より考えていかなければならないと思います。

委員： 佐久市はエストニアサク市と姉妹都市なので、市民の皆さんにもっとエストニアに親しみをもってもらえるような講座を開設してもらえるとありがたい。

事務局： 公民館でも少しずつエストニアのPRをしていきたいと考えています。機会があれば講座にも取組んでいきます。

委員： 公民館学習グループ連絡協議会では、どんなことが話題になっているのか。

事務局： 先頃開催した会議内容では、学習グループの講師の高齢化やお亡くなりになったことにより、今後の活動をどうしていくかなどの話がありました。

また学習グループ数や人数の減少についても課題として挙げられた中で、ある学習グループでは人数が増加し、高校生も学習グループ活動に入ったという明るい話題もありました。

(2) 令和2年度佐久市公民館事業計画(案)について

<事務局説明>

【質疑応答】

委員： 小学校へ公民館学習グループが出掛けて交流している事業は、公民館が主体となってやっているのか。

事務局： 地区によっては、学校が主体となりコミュニティスクールの位置付けで学習グループとの交流を行っている場合もあります。

委員： 「健康麻雀」は私が以前提案したもので、計画に入れてもらいたいと思う。

事務局： 地域で実際にやられている方がおり、その方を講師にお迎えできるか現在調整中です。

委員： 小学生の夏休み中に行う「夏休み子ども公民館」事業は、中央でも各地区館でも開催しているが、一緒の時期に開催してどうなのか。

事務局： 夏休み中の子ども公民館事業は、6月下旬から9月上旬くらいまで地区館で複数回開催し、中央公民館では7月下旬に1回、午前中に並行して3講座を行い、昼食は巨大流しソーメンを行うなど、イベント色が強い事業になっています。

(3) その他

・2022年度以降の佐久市成人式について

<事務局説明>

【質疑応答】

委員： 総合教育会議では成人式は20歳に、18歳の成人式では高校入試の負担があるとのことだが、他の理由はあったのか。

事務局： 総合教育会議では、本来は18歳で成人式を行うのが望ましいけれど、現実問題として成人になる人達が違うテーマ（受験や就職）で取組んでいかなければいけない真ただ中にある時に難しいのではという主な意見、皆が納得いく意見でした。

しかしながら、18歳が成人年齢になりながら式はずっと20歳でやりましょうということは課題があるので検討を重ねるとい
う意見がありました。

このことについては、2022年度の直前に佐久市の成人式は20歳でという方針を出すと対象者に迷惑をかけることになるので、今年中にその方向性を教育委員会が議決機関となるので固めていきたいと考えています。

7 閉 会